【公報種別】実用新案法第１４条の２の規定による訂正明細書等の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【登録番号】実用新案登録第3211104号(U3211104)
【訂正の登録日】平成31年2月8日(2019.2.8)
【登録公報発行日】平成29年6月22日(2017.6.22)
【出願番号】実願2017-1657(U2017-1657)
【国際特許分類】
Ａ４５Ｃ　11/00　(2006.01)
Ａ４５Ｃ　11/34　(2006.01)
Ａ４５Ｃ　11/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４５Ｃ　11/00　Ｃ
Ａ４５Ｃ　11/34　１０２Ａ
Ａ４５Ｃ　11/04　Ａ

【訂正書】
【提出日】平成31年1月30日(2019.1.30)
【訂正の目的】実用新案登録請求の範囲の減縮
【訂正の内容】
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
第一シート面及び第二シート面を重ねて上部に開口部を設けるように袋状に形成したケース本体と、
当該ケース本体の上部に第一シート面から延出して形成された前記開口部を塞ぐための蓋と、
前記第二シート面に対してその横方向かつ略直線状に設けた芯材と、
前記第一シート面の略中央に設けた円形の底板と、
前記蓋に設けた相互に吸着する仮止め用の一対の吸着体と、
前記第二シート面に設けられると共に前記吸着体と吸着する仮止め用の一対の蓋用吸着体とからなり、
前記蓋用吸着体は、第一シート面のうち前記蓋を折り返したときに前記吸着体の位置に対向する位置に設けられ、且つ、前記吸着体は、蓋を持ち手に変形させたとき当該吸着体どうしで仮固定できる位置に配置されている、ことを特徴とする小物収納ケース。
【請求項２】
前記芯材は、帯状の金属板で幅方向断面が若干湾曲したタックルで構成され、
前記吸着体は、マグネットの組またはマグネットと金属片との組で構成されることを特徴とする請求項１に記載の小物収納ケース。
【請求項３】
前記蓋は、長手方向端縁が二つの山を形成する形状になることを特徴とする請求項１又は２に記載の小物収納ケース。